



- P2 補正予算ピックアップ
- P3 賛否一覧
- P4~10 一般質問で町政を問う
- P11 常任委員会活動
- P12 議会出前講座のお知らせ
- P13 最近の議会活動、視察来町
- P14 要望書、編集後記

6

令和元年 月議会

第58号

議会だより

■ 標題は六角小学校4年
木室和徳とじたさんの作品です



■ 表紙は りりかみのり保育園 伊東莉々香さん(5歳児)の作品です。テーマ「ふうせん」

一般会計補正予算 6,496万円を増額・可決

〈コミュニティ助成事業など〉

一般会計予算総額は 145億7,896万円に

6月定例議会は、14日から21日までの8日間で開催された。18の議案について審議が行われ、全議案が可決された。一般質問は7人が行い、定住促進対策や空き家対策、高齢者福祉などについて執行部と議論を交わした。

補正予算
ピックアップ



コミュニティ助成事業

1,690万円

宝くじの社会貢献事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備に係る費用への助成するもの。

東京圏在住者移住支援事業

100万円

佐賀県が行う地方創生推進交付金を活用した移住支援事業と連携し、東京圏からの移住促進、起業・創業者の創出を図るもの。

強い農業・担い手づくり総合支援事業

300万円

意欲ある農業の担い手の経営規模の拡大や経営の多角化を図っていくため、必要な農業用機械・施設等の整備を支援するもの。

森林環境基金管理費

140万円

森林環境譲与税が譲与されることとなったことから、森林の整備や森林の有する公益機能、普及啓発等に関する経費とするため、この財源により基金を設置するもの。



議案に対する質疑



議事を進行する片淵栄二郎議長



平成31年6月議会定例会には、
6月17日⇒25人
6月18日⇒6人
の傍聴者にお越しいただきました。
皆さんの傍聴をお待ちしています！

賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

	議案番号	議案	結果	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片淵彰	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫	
5月13日臨時会	27	専決処分の承認(税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	専決処分の承認(白石町国民保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	専決処分の承認(平成30年度白石町一般会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	住ノ江漁港水産生産基盤整備事業既設構造物撤去工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月定例会	31	消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	34	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35	廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	36	水道事業の統合に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	37	森林環境基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	38	教育振興基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	39	杵藤地区広域市町村圏組合理約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40	佐賀西部広域水道企業団規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	41	西佐賀水道企業団の解散	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	42	西佐賀水道企業団の解散に伴う財産処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	町道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	ふれあい郷空調設備改修工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	総合センター外壁等改修工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	令和元年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	令和元年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	監査委員の選任(稲富健朗氏)	同意	無記名投票による採決																

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。



西山清則 議員

問 行政のプロとなるような人事管理の考え方は

答 町民の立場で考え、町民に信頼される職員が育つように研修を行っている

議員 白石町行政経営プランでは、組織や事務事業の効率化に努めていくこととされているが、各職員の強みが最大限発揮できるように人事配置が必要と思われる。職員が行政のプロとなるような人事管理の考え方は。さらに、人事評価シートを用いて、きめ細やかに評価されているのか。

議員 住民の福祉の向上に取り組むことが地

方自治の本旨であり、これからは交付金も抑制され、高齢化、福祉充実の時代を迎え、市町の使命はハードの行政から住民サービスというソフトの対策が重要視され、町民と苦楽を共にする行政の活性化が期待される。そういう中で、職員が十分に能力を発揮させるために、町民が期待し求めている職員像をどのように考えているのか。

町長 職員に信頼される行政組織を築き、町民の生活、満足度の向上に努めていきたい。人事評価制度を利用することにより、職員が職務を通じて、能力が発揮できるように今後もやっていきたい。

議員 職員の人事評価を能力向上のために、どの様に活用しているのか。

町長 職員の能力を最大限に引き出し、町民に信頼される行政組織を築き、町民の生活、満足度の向上に努めていきたい。人事評価制度を利用することにより、職員が職務を通じて、能力が発揮できるように今後もやっていきたい。

問 より多くの成婚につなげていく方策は

答 今後も婚活サポーターの方と町と一緒に考えながら進めていく

議員 婚活サポート事業においては、婚活サポーターによる引き合わせが中心として進められている。今後、今の状態で婚活サポーターによる引き合わせが進めようとしているのか。もっとより多くの成婚につなげていく方策は考えていないのか。

白石創生推進専門監 今後婚活サポーターの方と町と一緒に考えながら進めていく。登録者にやる気、本気を促すことが必要で、セミナー等を含め、婚活イベントを開催する準備をしている。

議員 県と連携を取り、町にサテライトを設置するべきではないのか。

白石創生推進専門監 さが出会いサポートセンターと連携を取りながら、町で取り組めるようであるならば検討していきたい。

- ① 町民の立場で考え、町民と協働し、町民に信頼される職員
- ② 現場を知り広い視野に立ち、改革、改善にチャレンジする職員
- ③ 豊富な知識と豊かな創造性で高いプロ意識を持つ職員
- ④ 高い人権意識と倫理観を持つ職員と考えている。

議員 臨時雇用職員に頼りながら業務を遂行している部署も多く見受けられるが、優秀な人材確保は大きな課題と思われる。処遇改善により、抜本的な対策が必要である。ついては、条例を変更し、年数に応じて給与の上乗せは出来ないか。



●あなたの婚活応援します

問 移住・定住策促進プランの策定を

答 他市町と区別した独自の移住・定住施策を提示できたらと考えている

議員 定住促進と人口流出対策として、住宅補助制度と住宅用地整備を盛り込んだ計画が必要では。

白石創生推進専門監 現在、移住・定住促進に特化した計画は無い。総合計画が来年度、総合戦略は今年度、計

画期間が終了するので、土地利用計画や都市計画との関係性も考慮して総合的に調整する。

議員 離婚を機に、本町から転出されている事例や、逆に親の近くに帰ってこられる家族も増加傾向にある。流

出を抑え、ひとり親家庭をケアするためにも住宅環境の支援が必要では。

建設課長 他自治体では、公営住宅に母子世帯向けの入居枠を設けたり、住宅手当や家賃補助、シングルマザー専用のシェアハウスをモデル的に整備しているところもある。県内の取組事例を調査し、援助策を研究する。

議員 若い世代の人口流出により、各産業の事業継続が危惧されている。町内の産業構造や人材の実態調査を行い、効果的な施策を展開すべきでは。

白石創生推進専門監 総合計画や、まち・ひと・しごと総合戦略策定の中で実態把握に努めていく。

問 ふるさと納税を通し縁を大切にしている仕組みづくりが必要では

答 満足感を感じる地域振興策を考えていくことが必要

議員 寄附者の家族にも白石を訪れて頂く機会を作るべき。返礼品として、帰省時の交通費の旅行券を。

産業創生課長 帰省時の旅行券については、換金性があることから、地場産業の新基準に該当しない。ただ、白石町へ訪れて頂けるような「コト消費型」の返礼品を考案し、新たな「縁づくり」を考

議員 クラウドファンディング型ふるさと納税制度創設のための検討委員会の設置を。

税や、町のSNSを発信できるよう、つながり強化を目的として、推進すべきでは。

白石創生推進専門監 同窓会の活用としては、現在取組んでいない。町の情報発信を含め、他の自治体の事例など、満足感を感じる地域振興策として、総合的に検討していく。

議員 「ふるさと愛の醸成」には同窓会を活用することが、絶対の機会と考える。ふるさと納

重富邦夫 議員



● 関西福富会



内野さよ子 議員

問 介護保険制度改革により変わったことは

答 介護予防・日常生活支援総合事業に移行された点など

議員 第6期介護保険事業計画においてサービス給付及び認定者数共に制度改革により事業の実績が低下しているが、何が変わったのか。

長寿社会課長 平成29年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行された点である。健康サロン、しゃきつ

と教室、元気が出る学校など介護予防のサービス提供を行っていると考えている。

議員 生活支援体制整備事業の進捗状況は。

長寿社会課長 生活支援コーナーデザイナーの配置により、高齢者が活動する場の提供などの資源開発、ネットワー

クの構築と町単位とした第1層協議体を設置し活動中である。今後は小学校区単位への体制づくりへ移行して行く。

議員 通所型B(サロン事業)は元気づくりシステムとして期待しているが。

長寿社会課長 参加者からは、身体が軽くなった、ストレス発散になる、おしゃべりができるなど前向きな意見が

多い。

今後は負荷を取り入れたものを計画。通

所型Bへの移行については申請手続きなどの支援を行っていききたい。

問 公会計財務情報は工夫して掲載を

答 用語などわかりやすくしていきたい

議員 全国統一基準で町ホームページに掲載されているが、公会計年度の意義は。

企画財政課長

① 財務情報の分かりやすい開示により、

説明責任の履行に資すること

② 内部管理に役立てること(分析の視点、

資産形成、世代間公平性、持続可能性、効率性、自立性)などがあり、

現金主義会計の補完的役割

議員 書類の活用は自治体運営の実態を踏まえ、そこから見える行財政の課題を解決していくためと考えるが。

企画財政課長 現金主義会計では捉えにくい減価償却費、各種引当金などは把握できる。

公共施設総合管理計画に固定資産台帳が活用された。

議員 財務諸表だけでは伝えにくい。町が抱える問題など町民にわかりやすく説明しなければいけないと思うが。

企画財政課長 主観的な判断による情報は掲載していないので、広報紙などでわかりやすく説明していく。

議員 町収入である財源については、町税である自主財源と交付税収の依存財源がまとめて掲載してあるなど、何のための情報かわからないため、もう少し研究してほしい。

企画財政課長 難しい用語はさけるなど、わかりやすくしていきたい。



●放課後等デイサービスロケット



中村秀子 議員

問 循環型社会形成の推進策は

答 ※3R活動等を実践し、ゴミの減量化と地域環境への負荷を低減した「エコの町」を推進する

議員 資源物の回収状況と廃棄物の再生利用率、及び可燃ごみの状況は。

生活環境課長 資源物の回収は10年間で半分に減少した。一般廃棄物の再生利用率は約10%である。可燃ごみは年々増加している。これは、資源ごみであるトレイや廃プラを平

成28年度から可燃ごみとしたことや、野焼きの禁止、クリーンセンターへの直接搬入があるためである。

議員 食用油の回収と再生は。

生活環境課長 廃油の再生利用施設の建設コスト、生成物の質、活用先など課題があり取り組んでいないが、業

者による収集回収については検討したい。

議員 環境保全意識の啓発に係る環境ISO取得等の施策は。

生活環境課長 町では平成28年度に白石町環境基本計画を策定し、その実現に向けて100項目について取り組んでいる。

主任指導主事 学校では環境版ISOには取り組んでいないが環境教育は行っている。

議員 農業用廃プラの処理状況は。

農業振興課長 白石地区農業生産資材適正処理推進協議会により、廃プラのリサイクル回収を行っている。

議員 循環型社会形成の推進策は。

町長 廃棄物を循環資源と考え、個人で出来ることを行い、ゴミの減量化と地域環境への負荷を低減した「エコの町」を推進する。

問 これからの高齢者福祉の施策は

答 今までの健康サロンをより介護予防の効果が期待できるメニューに移行する

議員 ふれあいサロンの状況と運営に係る課題、これからの施策は。

長寿社会課長 サロンは45箇所、千名程度が登録。施設までの移動手段やボランティアスタッフの確保が課題である。より介護予防の効果も期待できるメニューに移行したい。

議員 一人暮らしの高齢者の状況は。

長寿社会課長 75歳以上の一人暮らしは621人。

議員 成年後見人制度の周知と本町における状況は。

長寿社会課長 制度はパンフレットを窓口において周知している。今は問題が生じてから活用することが多い状況である。町内で14名の方が選任している。

議員 終活ノートの推進は。

長寿社会課長 終活ノートは遺言書のような法的効力はないが、もしもの時に備え情報を書いておき、意思疎通能力が失われた場合に立つ。まず、終活の必要性について周知を図りたい。

問 児童生徒のスマートフォン利用は

答 杵島郡では持たせない取り組みを行う

議員 小中学生のスマートフォン所有及び持ち込みは。

主任指導主事 小学生は12%、中学生34%が所有している。学校への持ち込みはない。

議員 教育委員会の指導方針は。

主任指導主事 杵島3町の取り組みが効果を上げており所有率も低い。今後もPTAと連携し持たせない取り組みを行う。



●いちご収穫体験



草場祥則 議員

問 町の人口減少対策は

答 住んでよかったと思えるよう総合的に各種計画を勘案しながら人口増に努めたい

議員 人口減少時代における対策について問う。まず本町の子育て支援策の現状は。

保健福祉課長 乳児家庭全戸訪問事業、子育て等に関する相談、ママカフェ、一時預かり事業や病児・病後児保育等を実施し、そのほかにも不妊治療支援、出産準備教室、乳幼児健診・相談、保育料の

ついて助成している。特に若い人に取り組んでいただきたいと考えている。

議員 新規就農者の推移は。

農業振興課長 平成26年から平成30年までの5年間で130名が新規に就農された。そのうち平成30年は25名であり、区分別では農家出身で他産業に従事した後で農業経営を開始したUターン者10名、農家出身で学校を卒業直後に農業を開始した新規学卒者が6名、非農家出身で、新たに農業経営を開始した新規参入者が5名である。

議員 町による宅地分譲の今後の計画は。

白石創生推進専門監 宅地分譲については、

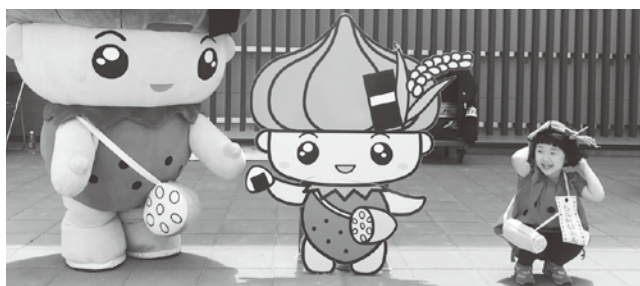
軽減等、充実した支援であると考えている。若者に対する起業支援は。

産業創生課長 6次産業化の取り組みにより、この5年間で40名の事業者が65品目を開発しており、「道の駅しろいし」でも販売されている。今年度も6次産品新規開発事業により、開発費や施設改修費に

人口減少に対する自治体の施策として有効であると認識している。

有明海沿岸道路や道の駅を拠点とした宅地分譲は、人口減少を食い止める手段として有効であると思われるが、用地の確保や下水道の整備など計画的な施設整備等が必要である。

総合的に勘案しながら人口増に努めていきたい。



●白石町観光名誉大使しろいしみのりちゃん

問 公共施設の管理における課題は

答 今後大量に更新時期を迎える公共施設の維持管理の問題

議員 これからの公共施設の管理における課題は。

白石創生推進専門監

喫緊の課題の一つは、今後大量に更新時期を迎える公共施設の維持管理の問題である。白石町公共施設等管理計画によると、公共建築物や道路、上下水道な

どのインフラ系施設の維持管理に、今後40年間で1,316億円が必要とされている。この厳しい財政状況の中では、全ての施設を改修することはできない。公共施設の再配置を行いなから町民の負担に

応えていく。

問 ビジネスホテルの誘致を望む

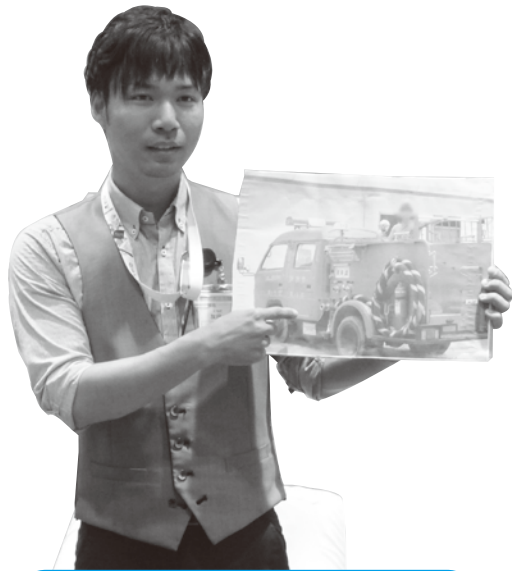
答 情報があれば積極的に取り組んでいきたい

議員 滞在型の観光ができるようビジネスホテルの誘致を望む。

副町長 近年は、田舎の郊外タイプのホテルが新しい形態として需要があるようである。

場所の選定などの問題が多く調整が必要な部

分があると思われるが、本町においても多くのメリットがあると考えられる。ビジネスホテルを建設したいとの情報があれば、町としても積極的に取り組んでいきたい。



友田香将雄 議員

問 ブランド力向上に向け、積極的なデータ収集を

答 重要と認識しているので今後検討していく

議員 特産物における「しろいしブランド」とは何を指しているのか。

産業創生課長 安定供給できる生産地としてのブランド化を目指している。主に玉ねぎ、レンコンのブランド力向上を目指し、現在トップセールスに取り組んでいる。

議員 特産物のブランド力向上は最終的に「物が高く売れる」ことを目的とするものだと思う。トップセールスに取り組んでいる中でそのような認識はあるのか。

産業創生課長 まず生産者と消費者との間で白石農産物の「安全・安心」という信頼関係を作ることに努力している。

議員 ブランド力向上に向けたデータ収集をトップセールス時にも行うべきではないか。

産業創生課長 今後、アンケート等でデータ収集を行いたい。

議員 白石町ブランド（本町の魅力）向上には、町の特徴・現状、他自治体との違いを客観的データに基づいて取り組むことが重要と考える。まずは町外転出者向けにアンケートを取り、本町の課題について調査を行うてはどうか。

白石創生推進専門監 重要と認識している。今後検討し関係施策に反映していきたい。



●首都圏での白石たまねぎフェア

問 通所型サービスBの柔軟な運用を

答 意見を聞きながら広域圏につないでいく

議員 12月議会でも要望した任意接種に対する支援はどのような状況か。

保健福祉課長 おたふくかぜ等有効性・安全性が確認されたものに関して定期接種の対象にするよう国に要望書を出している。

議員 介護予防事業と

して「通所型サービスB」が行われる。健康サロンと比べ利用しにくいという声がある。柔軟な対応が出来ないか。

長寿社会課長 利用者の意見を聞きながら、保険者である杵藤地区広域市町村圏組合につないでいく。

問 公用車の処分方法の見直しを

答 売却して少しでも収入になることであれば検討する

議員 昨今、他自治体では公用車をオークションに出品するなど積極的に現金化を行っているが、本町の公用車については処分料など手数料を払って処分をしている。不動車でも買い取る業者がある中、手数料を払って処分している状況には違和感がある。現金化に向けて積極的に取り組むべきではないか。

企画財政課長 不正転売等防止のため従前より廃車手続きを行っていたが、適正な廃車手続きが確認できる事为前提に、売却して少しでも収入になることであれば今後検討していく。



片渕 彰 議員

問 空き家の危険を回避するための代執行は

答 慎重な対応とならざるを得ない部分がある

議員 増加している空き家についての対策は、これまでどのように検討し実施されてきたのか。

総務課長 平成24年6月から空き家対策検討会を開催し、「空家等の適正管理に関する条例及び施行規則」と「空家等除却事業費補助金交付要綱」を平成25年4月1日から施行した。

また、除却費負担の
問題・相続問題・親族
間での話し合いができ
ない事案が8件、抵当
権の抹消手続きが進ま
ない事案が1件、相続
人の確認が困難な事案
が1件ある。

議員 その危険度の高
い空き家に対する対応
状況は。

総務課長 内訳は、既
に所有者が死亡されて
いる8件は相続人や代
表者へ改善通知を行っ
ている。14件のうち、
郵送した改善通知が返
送されたり、届いては
いるもののまったく接
触が取れない案件が4
件ある。

また、移住者が改修
し町内業者が施工する
場合は、改修補助金制
度(50万円上限)があり、
不要物の撤去・処分費
用に上限10万円を補助
している。

町長 慎重な対応とな
らざるを得ない部分も
あるので、「空き家等対
策検討委員会」で審議
を重ねながら対応して
いきたい。

議員 周辺の危険を回
避するために、これか
ら代執行もあるのか。

議員 平成30年3月か
ら空き家バンクを事業
化されているが、登録
や成約件数は。

白石創生推進専門監
本年6月1日現在、16
件の登録、8件の物件
が成約している。町の
空き家バンクサイトに
掲載して周知している。
制度開始時から、空き
家バンク流通促進奨励

白石町(しろいしちょう)は、佐賀県の中部部に位置し、有明海の広い干拓地と干潟で知られています。米、麦、大豆を柱とし、特産の蓮根(れんこん)、タマネギ、イチゴの栽培、畜産、有明海のノリ養殖も盛んな自然豊かな町です。

白石町のホームページはこちら ▶

白石町空き家バンク	申し込み数	成約成立数等	登録物件数
契約成立状況 ▲	19件	10件	9件

●町ホームページの空き家バンクサイト

総務常任委員会

「特定空き家・空き家バンク」の現地調査

5月10日、特定空き家・空き家バンク事業の調査を実施した。特定空き家については、老朽化に伴い危険を有する物件があり、周囲の環境に悪影響を及ぼしているところも見受けられた。町も対策を検討しているが、難しい問題が多くあることがわかった。

総務常任委員会で引き続き、空き家の根深い問題について解決策を見い出せるよう研究を深めていく必要性があることを認識した。



●現地で説明を受ける

文教厚生常任委員会

「有明ふたば保育園」を視察

5月10日、有明ふたば保育園を視察し、完全民営化後の状況について園長らと意見を交わした。

園では保育の質の向上に取り組んでいる状況が報告された。なお、法人を挙げて職員の処遇改善と人材確保、特に働きやすい環境づくりに尽力しているとのことであった。また、今年度から、新園舎の建設を予定しており、安全対策に特に留意していくと報告された。



●園長から説明を受ける

産業建設常任委員会

「いちごトレーニングファーム」を視察

4月24日、いちごトレーニングファームの視察を行い、指導員等と意見を交わした。最新の技術を学べる施設が完成し、5人の研修生が入塾し、熱心に学んでいる状況が報告された。また、指導員からは、いちごの栽培技術や就農に向けた指導内容の説明を受けた。

産業建設常任委員会では、若い方が安心して農業へ投資し経営できるような方策と農業を活かした定住人口の増加への仕組みづくりが必要だと認識した。



●指導員から説明を受ける

議会でも出前講座を開催しています。 相談はお近くの議員まで

本町議会は、議員活動をお知らせするために、議員が皆さんの会合へ直接出向いてお話をしています。開催日の一箇月前までに議会事務局へ申込書を提出してください。



友田 香将雄
(駅通)



重富 邦夫
(上区)



中村 秀子
(廻里)



定松 弘介
(戸ヶ里)



川崎 一平
(八の割)



前田 弘次郎
(深浦東分)



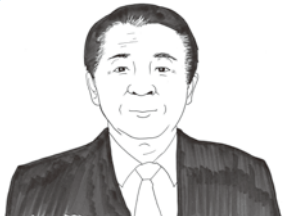
溝口 誠
(郷移西)



大串 武次
(西郷)



吉岡 英允
(北川)



片淵 彰
(原田)



草場 祥則
(下区)



井崎 好信
(西南)



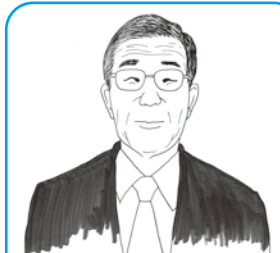
内野 さよ子
(馬田)



西山 清則
(六府方)



溝上 良夫
(上廿治)



片淵 栄二郎
(沖清)

最近の主な議会活動 4月～6月

日	曜	
1	月	教職員異動辞令交付式
4	木	保育園入園式（あかり、須古）
5	金	有明、北明戦没者慰霊祭
6	土	保育園入園式 （福田、福富、ふたば、わかば、みのり、六角、認定こども園）
9	火	中学校入学式
10	水	小学校入学式 議会だより編集会議
12	金	まちおこし運営委員会
14	日	護国神社例大祭
16	火	商工会青年部総会
20	土	婦人部連絡協議会総会
21	日	うたがき春まつり
23	火	みらいネットの会総会
24	水	産業建設常任委員会所管事務調査
26	金	自衛隊家族会総会

8	水	育英学生候補者選考委員会
9	木	老人クラブ連合会有明支部総会
10	金	民生委員推薦会
		議会運営委員会
		議員全員協議会
		文教厚生常任委員会所管事務調査 総務常任委員会所管事務調査
11	土	ボランティア連絡協議会総会
13	月	臨時議会
14	火	戦没者追悼式
15	水	老人クラブ連合会総会
		杵藤地区町村議長会総会
19	日	中学校体育大会
21	火	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会
		国民健康保険運営協議会 佐賀地区建設関係合同期成会

日	曜	
22	水	筑後川土地改良事業杵島地区推進協議会総会
		佐賀県町村会議長会議
		茨城県ひたちなか市視察対応
23	木	佐賀西部政経セミナー
24	金	「道の駅しろいし」祈願祭
25	土	杵島郡身体障害者連合会代議員総会
26	日	関西福富会
		小学校運動会
28	火	全国町村議長会議長副議長研修会
		青少年町民会議理事会
29	水	白石町教育研究会全員集会
30	木	学校統合再編審議会
31	金	議会運営委員会

1	土	「道の駅しろいし」オープニングセレモニー
4	火	社会福祉協議会理事会
		杵東地区衛生処理場組合議会臨時議会
7	金	町防災会議
10	月	議会出前講座（有明干拓老人クラブ）
11	火	議員例会
14	金	6月議会開会
16	日	手をつなぐ育成会総会
17	月	一般質問
18	火	一般質問
19	水	議案審議
21	金	議案審議 閉会
		社会福祉協議会理事会
22	土	青少年育成町民会議
27	木	学校統合再編審議会
29	土	東京白石会

視察来町（茨城県ひたちなか市）

5月22日（水）、茨城県ひたちなか市議会から文教福祉委員会の議員など8名が訪問され、本町の行財政運営、コミュニティタクシー「いこカー・予約制いこカー」について研修されました。



要望書を受け取りました 3件

- 町内業者への工事発注の取り扱いに関する要望
提出者 白石町商工会建設工業部会長 野中正博
- 北明浄水場(水道)跡地の利用計画について
提出者 西分公民館長 西村忠則
- 町内建設業者育成と建設労働者の雇用確保等のための配慮の要望
提出者 白石町建設業組合 会長 溝口隆治

道の駅しろいしオープン!



議会戦隊 炊飯ジャー

第23話「通告」

作: Sachimon



※議会の会議(本会議)で議員が発言したいとき予め議長に発言の趣旨などを告げ、知らせることをいいます。

編集後記

平成の時代は、戦争のない平和な時代であった一方、自然災害が次々に日本を襲った時代でもありました。

これからは、災害の少ない時代となることを祈っています。新たな元号の『令和』とは、「みんなが仲よく」という意味もあるようです。白石町民が一丸となり、これからのまちづくりに頑張っていきましょう。

議会だより編集委員も心機一転、より一層頑張って内容のある議会だよりにしていきたいと思ひます。ご愛読よろしくお祈ひします。
(こうすけ)



白石町議会だより/第58号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長片瀨栄二郎

編集委員/委員長 前田弘次郎
副委員長 友田香将雄
委員 川崎 一平
" 定松 弘介
" 中村 秀子
" 重富 邦夫